

2010年10月26日

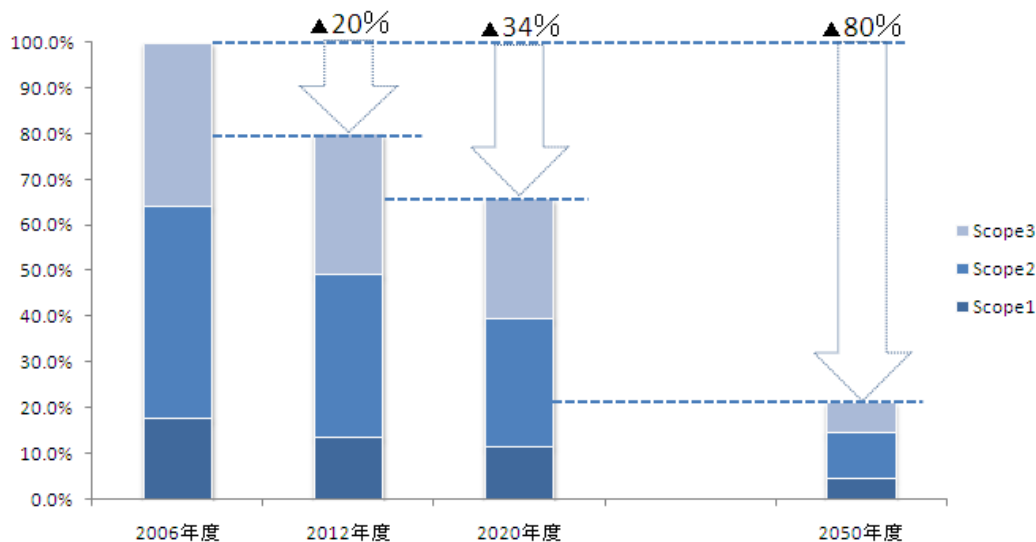
温室効果ガス削減の中長期目標(2020年度、2050年度)を設定しました。

日本興亜損害保険株式会社(社長:兵頭 誠)は、温室効果ガス(CO₂)削減の中長期目標(2020年度、2050年度)を設定しましたのでお知らせします。

■温室効果ガス(CO₂)削減の中長期目標について

日本興亜損保では、2012年度までに2006年度比で温室効果ガス(CO₂)の削減努力により20%削減し、残りは排出権を購入するなどして、“CO₂排出ゼロ”カーボンニュートラル企業を目指しています。

この度、2020年度に34%削減、2050年度に80%削減という中長期の自助努力による削減目標(基準年は2006年度)を設定しました。



*Scope1 は化石燃料の使用に伴う直接排出。Scope2 は購入電力の使用に伴う間接排出。Scope3 はその他事業活動に伴う間接的な排出。

*中長期目標(2020年度、2050年度)算出の前提条件

- ・削減要素は、量の削減、設備等の効率化、生産性向上、化石エネルギーから非化石エネルギーへの転換、革新的なビジネスモデルへの転換、科学技術の革新による発電効率向上などを見込んでいます。
- ・増加要素は、アウトソーシングの拡大(外注先における排出)と海外ビジネスの拡大を見込んでいます。

本目標達成とあわせて、低炭素社会への転換を後押しするような保険の開発や、環境配慮行動を促す保険商品・サービスの提供など、持続可能な社会の実現・発展に向けた企業としての責務を率先して果たしてまいります。

以上

